

住田町立世田米小学校 第4学年 地域創造学学習指導案

日 時	令和3年9月29日(水)
場 所	体育館
学 級	第4学年 18名
授業者	T1 高橋 久美 T2 瀧本真理

1 単元名 「すごいぞ住田！気仙川のためにみんなのできること」

2 単元について

(1) 学習材について

本単元の題材である「気仙川」は、住田町五葉山系の高清水山町に源を發し、世田米の川口で大股川と合流して南へ流れを変え、陸前高田市の竹駒町で、矢作川を合わせ、広田湾に注いでおり、昔から木材や鉄を陸前高田市へ輸送する手段として利用されていた。現在では、農業用水や水力発電、町民の生活で使う水としても利用され、住田町の生活を支える川である。また、解禁日には、県内外からたくさんの釣り人が集う「アユの宝庫」としても知られている。地域の人々は気仙川を誇りに思い、定期的に河川の清掃活動を行うなど、地域が一体となって保全活動に努めている。

本単元では、気仙川について、児童一人一人が調べる課題を設定し、気仙川が自分たちにとってどのような存在であるかを気付かせ、その川を守ろうとする人々との関わりを通して、自分たちも気仙川を大切にしようとする気持ちをもたせ、実践できるようにしていく。

(2) 児童について

本校の児童のほとんどは、気仙川の中流域で生活しており、町の中心を流れている気仙川は、児童にとって身近な存在といえる。しかし、安全の面から気軽に遊びに行けるところではないこともあり、「夏になると遠くから鮎釣りをする人が来る場所」、「水がきれいな川」などの認識はあるものの、気仙川が地域や地域の人々にとってどのようなものであるかを深く考えている児童は少なく、誇りをもち、積極的に関わろうとする姿はあまり見られない。

本学級の児童は、住田のよさに目を向けて、意欲的に学習に取り組んでいるが、学習する事象と自分が関わっていることに気付いていない児童も多い。そこで、見学やゲストティーチャーのお話を聞く会などの体験的な活動を行い、気仙川と自分との関わりに気付くことができるようにしていきたい。

(3) 指導にあたって

本単元を進めるにあたり、学習課題の解決に向けた「問い」や、「気仙川の見学や気仙川と関わる人との対話」などの「体験的な活動」を意図的に位置付けていく。

第一次では、学校周辺の気仙川を探検し、川の周りの様子や川の中を観察したことをもとに、「気仙川は、どのような川なのか」という「問い」をもたせる。そのうえで、上流(種山)から下流(陸前高田市)の様子を見学し、気仙川の環境や気仙川に関わる施設、そこで生活をしたり仕事をしたりする人々など、視野を広げながら探究する体験的な活動を行う。

第二次では、「気仙川に関わる仕事をしている人のお話を聞く会」という体験的な活動から、さまざまな立場の人たちの思いを知ることを通して「気仙川と自分とはどのような関わりがあるのか」、「気仙川は自分にとってどのようなものなのか」を考えさせていく。さらに「気仙川のために自分たちは何ができるのか」という問いをもたせ、自分たちの思いを保全活動につなげる探究活動を行うことができるようにしていく。

第三次の、「考えよう未来の気仙川」の学習では、これまでの活動をまとめた上で、「気仙川の未来」について考えるという発展的な学びにつなげていきたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

	資質能力の分類	資質・能力別の目標
社会的実践力	A【地域理解】	○気仙川の様子や人々との関わりについて理解を深め、気仙川を守る取り組みに積極的にかかわることができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○気仙川の様子や地域の人々との関わりを調べ、気仙川の特徴や今後の在り方について考えることができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○友達と協働したり、地域の人々と交流したりして気仙川の様子についての探究活動や気仙川を守る活動に取り組むことができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○気仙川に関心を持ち、取り組みを振り返り調整しながら探究活動に取り組むことができる。

(2) 評価規準

☆汎用的スキル ★態度・意欲・学びの価値

資質能力		評価規準	
A	◎地域理解	【◎地】	・気仙川の現状についての理解を深めるとともに、気仙川環境保全に、自分がどのようにかかわることができるか捉えている。
B 社会参画に 資質する 能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・気仙川について、自分にとっての価値あることを見出したり、課題について解決の計画を立てたりしながら、探究活動に取り組もうとしている。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・気仙川についての課題を解決するために、比較したり、関係づけたりしながら、よりよい考えを見出そうとしている。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・気仙川のよさがよりよく伝わるように、適切な方法を選んでまとめ、発信しようとしている。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・気仙川に自発的に関心に向け、それを自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的にかかわろうとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・気仙川に関わる探究のために自分のやるべきことを考え、最後までやり遂げようとしている。
C 関人す間 関係資質 形成能力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・気仙川について調べたことや考えたことを伝えることができるとともに、話し手の伝えたいことや、自分の聞きたいことを中心に捉えて聞き、考えを伝え合おうとしている。
	3 ★他者受容	【★受】	・気仙川にかかわる地域の人々や友達の思いや願い、考えを、その背景にあるものに目を向けながら大切に受け止めようとしている。
D 関自律 する資質 活動能力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・気仙川についての課題解決に向けて、取り組みの進捗状況を振り返り、これからの学びや活動に必要なことを捉えようとしている。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・気仙川を調べる上で、よく考え判断して行動し、自分のよさや可能性に気づき、よい所を伸ばそうとしている。

4 単元の指導・評価計画（本時 第22時／全38時間）

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目 〈評価方法〉
		問題状況の把握	1	・身近な気仙川の様子について、それぞれに知っていることを書き出したり分類したりする。	理科 「雨水の行方をたどろう」 A B4	・B1☆見通す力 (学習シート) ・B2☆多角的・多角的に考える力(発言)

6 ・ 7	調べようわたしたちの気仙川	課題設定	1	・前時に個人で分類したことを全体で分類・共有し、学習課題「気仙川について調べよう」を設定する。	社会 「水はどこから」 「水害からわたしたちの暮らしを守る」 B2 B5 国語 「パンフレットを読もう」B3 道徳 「希望と勇気、努力と強い意志『へこたれないきせきのりんご』」B5	・B1☆見通す力 (ループリック)
		実施・改善	4	・学校のまわりの気仙川を探検し、川の様子を調べる。		・B4★好奇心・探究心(観察・学習シート) ・B5★困難を解決しようとする心(観察・学習シート)
		振り返り	1	・学校のまわりの気仙川探検についてまとめ、更に調べたいことを交流し合う。		・B3☆提案・発信する力(発言・振り返りの記述)
8 ・ 9		見も通し	1	・1学期のまとめをもとに気仙川を探究する個人課題から共通課題を設定し、探究活動について見通しをもつ。		・B1☆見通す力 (ループリック)
		実情情報・収集	11	・気仙川探検の計画を立てる。(1) ・校外学習で気仙川探検をする。(8) ・気仙川探検の結果をまとめる。(2)		・A◎地域理解(観察・学習シート) ・B4★好奇心・探究心(観察・学習シート・振り返りの記述)
10 ・ 11	守ろうみんなの気仙川	情報収集	2	・ゲストティーチャーを招き、気仙川の現状やどのような保全のための活動を行っているかを伺う。		・C1☆伝え合う力(発言・学習シート) ・C3★他者受容(学習シート)
		見通し画をする	1 本時	・ゲストティーチャーの話を聞いて思ったことを交流し、自分たちにとって気仙川がどのような存在かを考え、自分たちにできる環境保全について話し合う。		・B2 多面的・多角的に考える力 (ループリック)
			1	・自分たちにできる保全活動について計画を立てる。 (美化活動、ポスター作製など)		・B1☆見通す力 (発言・学習シート)
		実施改善	4	・自分たちで考えた保全活動を行う。		・B5★困難を解決しようとする心(観察・振り返りの記述)
		振り返り	1	・気仙川の保全活動を振り返り、活動から感じたことなどを話し合う。		・C1☆伝え合う力・D1☆感じ取る力(振り返りの記述) (学習シート)
11 ・ 12	考えよう未来の気仙川	問題状況の把握	1	・これまでの調査や保全活動をもとに、分かったことや感じたこと考えたことを交流し合う。		・C3★他者受容 (ループリック)
		まとめ・振り返り	6	・これまでの調査活動や保全活動を振り返り、気仙川について分かったことや考えたことについてまとめる。 (新聞や、作文などを作成する)		・A◎地域理解(発言・学習シート) ・B3☆提案・発信する力 (学習シート)

		1	・まとめたものを交流し合う。	・B3☆提案・発信する力 (学習シート) ・C1☆伝え合う力 (発言) ・D3★自己肯定感 (発言・振り返りの記述)
		1	・単元全体を通しての振り返りを行い、気仙川と住田町の未来についての考えをもつ。	
計		38 時間		

5 本時の指導

(1) 目標

「お話を聞く会」の学習を振り返り、地域の人々の思いに気付くとともに、自分たちの生活と関連付けながら、気仙川に対する自分の思いをまとめることができる。

【B2 社会参画に関する資質能力 ☆多角的・多面的に考える力】

(2) 評価について

パフォーマンス課題		・お話を聞く会の振り返りや、今まで調べたことをもとに、気仙川に対する自分の思いをワークシートに書く。
みとる資質・能力		B2 社会参画に関する資質能力 ☆多角的・多面的に考える力
パフォーマンスの特徴	A	・気仙川をどう思うかについて、自分たちの生活や地域の人々の思いと関係づけ、理由を明確にして、自分の思いを記述している。
	B	・気仙川をどう思うかについて、自分たちの生活と関係づけ、理由を明確にして、自分の思いを記述している。
	C (支援の手立て)	・黒板や今まで学習してきたことをまとめた掲示やファイルを振り返らせたり、友達のを参考にさせたりしながら、自分の考えをまとめることができるようにする。

(3) 展開

段階	学習内容・学習活動	指導上の留意点 ◆評価
導入 4分	1 前時の学習の想起 前時に行った「気仙川の現状のお話を聞く会」について想起する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 気仙川に関わる人は、どんな仕事をどのような思いで行っているのだろう。 </div>	・気仙川に関わる人が様々な思いをもちながら活動していることを想起し、本時の学習課題を設定する。
	2 学習課題の設定に向けての学び (1) お話を聞く会で分かったことを交流し、たかしん興業の橋本さん、漁業協同組合の橋本さん、役場の町民生活課の佐々木さんの仕事や取り組み、思いについて確かめる。	・前時のゲストティーチャーの話をもとに、仕事の内容・思い、保全の取り組みを分類できるようにする。

<p>展開</p>	<p>(2) 気仙川に関わる仕事をしている人々の思いについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まとめ 気仙川に関わる人たちは、気仙川を大切に守っていかなければならないという思いをもって仕事をしている。</p> </div> <p>(3) 気仙川について自分はどう思うかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を振り返り、気仙川に対する自分の思いをワークシートに書く。 ・ワークシートの記述をもとに気仙川への思いを交流し、気仙川が自分たちにとってどのような存在なのかを確かめる。 <p>3 単元の学習課題の設定</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>気仙川を守るために、自分たちができることは何だろう。</p> </div> <p>4 課題解決への見通し</p> <p>気仙川のために、自分がどんなことができそうか考え、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気仙川に関わる仕事をしている人の思いについて、理由を明確にしなが、発表することができるようにする。 ・気仙川の現状や流域に住む人々の役割や思いを確認し、保全に対する問題意識を高めることができるようにする。 <p>◆評価</p> <p>お話を聞く会の振り返りや、今まで調べたことをもとに、気仙川に対する自分の思いを考えることができる。 (発言・ワークシート)</p> <p>・気仙川への自分たちの思いをもとに、気仙川を守りたいという気持ちを高め、課題を設定できるようにする。</p>
<p>まとめ 6分</p>	<p>5 振り返り</p> <p>ワークシートに振り返りを書き、発表する。</p> <p>6 次時の学習内容の確認</p> <p>次時からは、課題解決に向けて、具体的な計画を立てる活動があることを知る。</p>	